渕岡茂君　となりにＢＯＸがありました。久しぶりの出席です。

吉川吉彦君　佐藤義英さん、坂内康男さん、卓話時間が短かくて残念です。ごくろう様です。

ロータリー財団：

渕岡茂君　ちょっと早いようですが、娘が来春幼稚園入学です。とりあえず第一報させていただきます。

中條耕二君　斉藤さんのとなりで協力させて頂きます

斉藤正君　連休に娘の嫁ぎ先の鹿児島にゆき、亭主の目をぬすんで大きくなった娘の腹を一なでして帰ってきました。

山口龍二君

卓　話：

「誕生記念日」　佐藤義英さん

今日は私と坂内さんで卓話をさせていただきます。まず私が坂内さんの前座をつとめます。

演題は「誕生記念」であります。別に深い意味は無いのですが偶然にも坂内さんと誕生日がいっしょなんです。私と板内さんがプログラム委員会があった時プログラム委員長の本間さんがなやんでいたようだったので、この日は「俺とお前と卓話でもやるか」という事にかんたんに引受けたわけで今となっては後悔しているわけです。

実は２人ともＳ・19・11・18日生まれであります。

正月正日の先週やる予定でしたが大島パストガバナーにとられまして１週遅れの今日になりました。別に誕生日といってもこの年に成るとなんの感概も有りませんが、ただ最近年をとるのが速くなったなーと感じます。本当に１年の過ぎるのが速いです。聞きますと坂内さんは毎年盛大に誕生祝いをやるそうですが私の所は女房も11月９日生まれという事で近いもんですからお互い無しにしようということで最近は別に祝い事は有りません。

若い頃はそれなりに有りましたが!!

特に今年なんかは女房がカゼをこじらせて先日まで半月も寝込みまして散々な誕生日と成りました。その間５組の夫婦で金沢へ旅行が有ったんですけど女房が段取りをして行けなく結局私１人添乗員をやってまいりました。それでも先日は今井さんが「１人ではひもじい思いをしているんだろう」と晩食にさそってくれて１食助かりました。今井さん有難とう。持つべきは良き友達です。しかしこれも今井さんに日頃支払っているゴルフのニギリ分ですから安いもんです。又お願いします。

冗談はこのくらいにして。

先日秋田へ行った時の話を少ししたいと思います。実は全国トラック運送事業者大会が新潟ブロ

ックの担当という事で秋田で開かれたわけですが全国北は北海道、南は九州沖縄迄のトラック運送事業者が一同に集りました。ですから大会は秋田市で一番大きいと思われる駅前の秋田ビュホテルでした。丁度ロータリーの地区大会みたいなもので当然御夫人同伴もおられるわけですから観光やゴルフのエキスカーションも8通り位有りました。

それと一応は勉強会もちゃんと有ります。それは分科会が3つ有りまして「税制問題」とか「輸送効率化」とか「社会との共生」がテーマと成っております。

運送屋もすごいでしょう。こう言う事をちゃんと勉強しているんです。詳細に付いては時間も有りませんし企業秘密も有りますのであえて申し上げません。来賓もそうそうたるメンバーで運輸省はもちろん自治省、労働省、秋田県知事、市長、秋田県警察本部長、それにトラックメーカー等の外部団体、専門紙のジャーナリスト等が出席して居りました。総勢1,700人程度と思います。

最後はお目当の懇親会に成ったわけですが、秋田市長の挨拶の中でおもしろかったのは「秋田美人　秋田小町と女ばかりが有名に成ったが、その秋田美人を作っているのは我々男の種がいいからだ。だから秋田男もお忘れなく」には場内大爆笑でした。その秋田美人のコンパニオン（中にはナマハゲみたいなのもいたかな？）よくもこれだけの人数を集めたなと思うくらいのもと秋田名物のキリタンポと地酒でたらふくごちそうになってきました。

何かロータリークラブの地区大会報告みたいに成ってしまいましたが時間も無いので私の卓話を終わります。真打の坂内さん「おあとがよろしいようで!!」

「誕生記念」　坂内康男さん

久しぶりの三回目の卓話です。11月18日が誕生日なので誕生記念と題がきまり友わがクラブの佐藤義英さんと誕生日が同じ日と言う事で一諸に2人で題も同じ卓話する事になりました。ところが11月18日にクラブ来訪者大島パストガバナーより日程の変更があり11月18日にわがクラブで卓話してくれるとの事で1週間遅れの卓話となりました。又佐藤さんとはゴルフ同好会ではいつも生れた日が一諸と言う事で何かにつけ誕生話しなどします。又ゴルフではいつも佐藤さんにスクラッチでは負けて払いっぱなしです。では本題に入りますがまず自分の名前の由来から1944年11月18日誕生戦前生れです。父親が建築業で大工仕事で当時戦地には行かなく国の仕事で満州に渡り満鉄の仕事をしたそうです。満州国では年号が康徳と言う年号で名前を付ける時年号の康を取り男子ですので男を付け康男と言う名を付けたと聞いています。又小供ころは誕生日だから何かを買ってもらった記憶はあまりありません。中学入学時におじさんより万年筆をプレゼントしてもらった思いでくらい。誕生記念とか結婚記念とかやるきっかけになったのが、中学卒業後親の家業を継ぎ建築学校に入りその時の出会った仲間2人と同級生の1人計4人で月1回